

令和4年度事故概要一覧表

令和4年4月～令和5年3月

No.	発生/受信 月日	調査 月日	発生場所		事故区分			原因者	生物被害	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)
			水域等	場所等	魚死亡	油浮遊	その他			
1	4月18日	4月18日	—	舟倉2丁目 先の水路	○			不明	あり	舟倉2丁目先の佐川急便横の水路で、コイが死亡していた。 周辺の事業所等からの流入は確認されず、簡易測定結果も異常なかったため、原因は不明であった。
2	5月17日	5月17日	—	日の出町1 丁目先の水路			○	判明	なし	日の出町1丁目先の工事現場の水抜き穴からセメントミルクが水路に流出した。白濁は水路でとどまり、海域への流出はなかった。 原因者に対して、水路の清掃、神奈川県生活環境の保全等に関する条例第113条第2項に基づく報告書の提出を指導した。
3	6月5日	6月5日	武川	富浦公園横	○			不明	あり	富浦公園横の武川でうなぎ、ハゼが死亡していた。 河川水及びうなぎから農薬が特異的に検出されたが、原因者は不明であった。 JAに農薬の取り扱いについて注意喚起するように依頼した。
4	7月14日	7月14日	平作川	根岸町3丁目 先	○			不明	あり	根岸町3丁目先の平作川で、コイが死亡していた。 周辺の事業所等からの流入は確認されず、簡易測定結果も異常なかったため、原因は不明であった。
5	8月5日	8月5日	平作川	平作1丁目 先			○	不明	なし	平作1丁目先の平作川に洗剤が流れており、泡立っていると通報を受け、現地調査をした。 洗剤等の流入や泡立ちは確認できず、流域の生物被害もなかった。
6	9月2日	9月2日 9月5日	浦賀港	浦賀4丁目 浦賀ドック 先			○	不明	なし	浦賀ドックから浦賀港への排水口から海に油が流出していた。 オイルマットを設置し、油膜の拡散を防止したが、流入元は不明であった。 後日再調査をしたが、油の痕跡は見られなかったため、原因者は不明であった。
7	9月27日	9月27日	平作川	舟倉1丁目 先			○	不明	なし	船倉町1丁目先の平作川の川底からヘドロのようなものが、湧き上がっていた。 約10～30秒程度で止まり、周辺の事業所等からの流入は確認されなかった。流域の生物被害もなく、原因は不明であった。
8	10月25日	10月25日	津久井川	川尻橋付近			○	不明	なし	津久井川の川尻橋付近の川の淀みの部分に2か所油膜があることを確認した。 河川への油の流入は止まっており、油臭はなかった。流域の生物被害もなく、原因は不明であった。
9	1月30日	1月30日	—	野比5丁目 先水路			○	判明	なし	道路側溝に水性塗料が流されたことにより、野比5丁目先の水路で白濁が見られた。水性塗料には有害物質等は含有されておらず、水生生物への被害は確認されなかった。
10	2月7日	2月7日	—	金谷1丁目 先水路			○	不明	なし	金谷1丁目先の水路にて、黒いヘドロのようなものが確認された。 原因は汚水柵の劣化によるものだったため、修繕することで対応した。
11	2月7日	2月7日 2月8日	—	野比5丁目 先水路			○	判明	なし	アパートの敷地から汚水が流出したことにより、野比5丁目先の水路にてどぶ臭のする白濁が確認された。 原因者が水路の清掃を行った。